

連合岩手釜石・遠野地協

NEWS LETTER

連合岩手釜石・遠野地域協

NEWS LETTER 第44号

発行人 小島 安友

編集人 菊池 利行

2024.7.16 発行

地域の公共交通を守ろう！

地域交通三団体（連合地協との連名）から

市長に要請書を提出

7月8日

7月8日（月）釜石市役所市長室にて、「公共交通施策に関する緊急要請」が行われました。地方ロ一カル線を守る市町村の会の代表の村上幸三郎他1名、岩手県交通労働組合の大坪勝利委員長他2名、全自交岩手地方本部釜石支部の今野徹支部長他1名、連合岩手釜石・遠野地域協議会の小島議長他1名、合計11名の市長要請行動になりました。

小島議長から、当地区の現状をアフターコロナ、物価高、少子化の課題等を踏まえ、釜石市における緊急支援の必要性を強く訴えました。その後、各団体から現状認識と課題、それに関する要請案件の提案が行われました。

① 高齢者等の交通弱者に対する福祉の観点から、路線バス利用時の公費助成の拡大を図ること。② 高齢者の自動車運転免許の自主返納者に対する割引制度を導入すること。

③ 市内公共交通機関への支援を拡充すること。④ 新紙幣、新貨幣に対応したIC機器導入のため支援金の拡充を図り、事業者負担を減らすこと。⑤ 「交通政策（タクシー事業）に関する緊急要請」

民の移動手段を守ることの重要性を認識し、人口減少下、共に知恵を絞って対応していきたいとの発言がありました。



(1) 地方ローカル線を守る市町村の会 村上会長 及川氏



(2) 岩手県交通労働組合 大坪委員長、藤井副委員長、山崎釜石支部長



(3) 全自交岩手地方本部釜石支部 今野支部長、松田氏



小野市長と小島議長

ろうきん釜石支店推進委員会【ビアパーティー】

協賛：釜石地区岩手県商協連合会
こくみん共済coop釜石支所
消費者信用生活協同組合釜石事務所

・日時：2024年8月8日（木）18時～
・場所：ホテルクラウンヒルズ釜石2階

東北労働金庫釜石支店推進委員会

【ビアパーティー】お楽しみ抽選券
No.:

2024 平和集会

釜石地区 7月23日（火）
18:00～ 釜石教育会館駐車場

遠野地区 7月24日（水）
18:00～ 遠野教育児童会館駐車場



平松副市長、平野市民生活部長、推薦議員の菊池秀明市議、三浦一泰市議も同席しました。

**連合
第二の森の
植林活動
地協から
3名の参加**



雨の予報の中、速やかに活動が始まりました。!



岩手山をバックに植林の終了です。

6月1日滝沢市、春子の森の植林活動「か開催されました。100人を超える参加者の中、釜石・遠野地域協議会からは、日鉄労組の山口さん、板澤さん、釜石・遠野地協

事務局長が参加しました。今にも泣きだしそうな天気の中、県下各地から集った仲間が心地よい汗を流しました。終了後は、豚汁とおにぎりの昼食交流会になりました。久しぶりのピニールシートに座っての会食に岩手山もなにか嬉んでいようでした。

地域支援行動
— 日鉄釜石シーウェイブスを応援しよう —
おめでとう!
D2残留!

釜石・遠野地協は、鶴住復興スタジアムで開催されるホームゲームに對して街頭宣伝行動を随時行ってきました。市民応援の一助になればとの願いを繋いでいます。さて、5月25日に行われた入れ替え戦(対クリタウオーターガッシュ)を41対26で勝利し来期もD2のカテゴリで、そして鶴住復興スタジアムで試合が行われることになりました。一時は、どうなるかとハラハラしましたが、釜石・遠野地域協議会は、地域支援活動の一環として、引き続き応援していきます。**がんばれ!!**

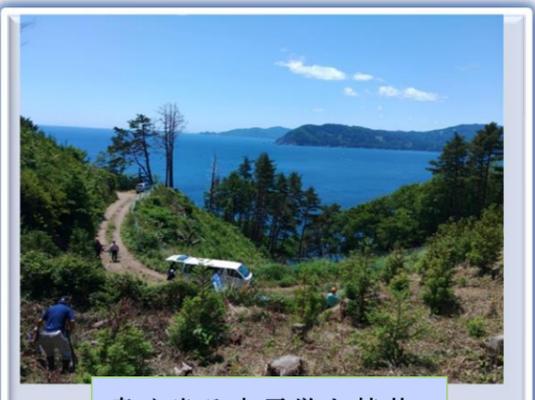
**「尾崎半島火災現場」への植樹
5月25日(土) 昨年引き続き開催
自然の再生力を再度実感!**

尾崎半島火災現場植林活動は、晴天の下、実施されました。1年に30センチメートルも育つという説明を聞いて、成長することを心から願いながら、一本一本丁寧に植林しました。鹿の害がはびこる現場です。今後も継続することの必要性を感じました。



岩教組、県職労、COOP共済。協力に感謝です。

県の補助事業が昨年の3月で終了しましたが、補植の必要性もあること、釜石地方森林組合と協議の上、コロナ感染予防対策を取りながら、実施の運びになりました。これまで、山林再生にあたって、釜石・遠野地協では植樹活動のほかにも被災木を活用したグッズの製作などでも支援を続けてきました。今年で通算5回目となる植樹です。10名の参加があり、釜石地方森林組合の高橋幸男理事の指導の下、急勾配の斜面に植林をしました。鹿による被害で、茶色に変色した苗木や、硬い岩場の中で、根づかなかった苗木を一本一本確認しながらの補植活動になりました。余りにも広い山火事の現場を眺めながら補植の必要性と継続性を強く感じました。今年も、一本183円の苗木を200本購入し地協として補植事業に協力しました。



青く光る太平洋と植林



急勾配の現場

「海は森の恋人」という言葉もありますが、海を守る役割としての森林の大切さも再確認する機会にもなりました。その後、大平町仲見世にて、反省会を行い、来年度も同時期に開催することも確認されました。現地では太平洋を見ながらの昼食交流会もあればいいのではという意見もありました。この日は仲見世イベントもあり、楽しい一時を過ごしました。来年も多くの皆さんの参加をお待ちしております。